

消化器病センター

消化器外科

Gastrointestinal Surgery



社会医療法人
敬和会

大分岡病院

〒870-0192 大分市西鶴崎3-7-11

電話番号：097-522-3131(代)

FAX番号：097-503-6606

大分岡病院消化器病センター ホームページ ▶



・JR 鶴崎駅より徒歩5分
・国道197号線
最寄バス停「鶴崎駅前」
又は「寺司」より徒歩5分
2025.04

消化器病センター

消化器内科

Gastroenterology

お電話での完全予約制です

地域・患者総合支援センター

TEL **097-503-5033**

予約受付時間：月～金 8:00～17:00
土曜日 8:00～12:00

消化器内科

Gastroenterology

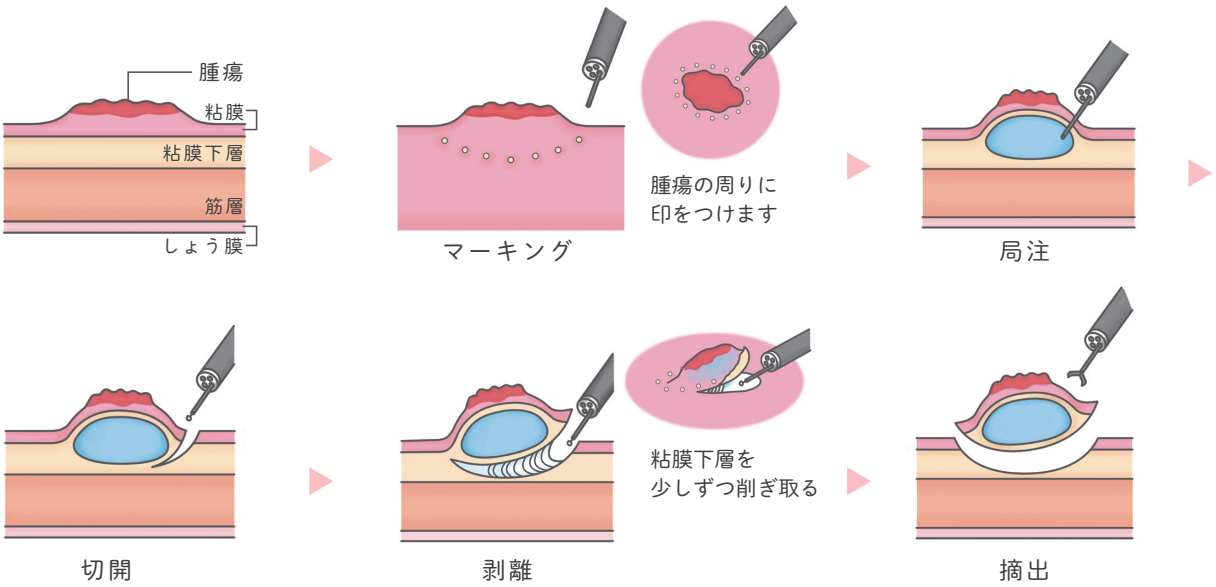
内科では、2018 年より様々な高度内視鏡治療を導入しています。早期消化管がんに対する内視鏡的
粘膜下層剥離術(ESD)では、胃がんをはじめ、食道がん、大腸がん、さらには十二指腸がんに対しても
行い、巨大病変や切除が難しいとされる腫瘍などにも対応しています。胆膵疾患に対しては内視鏡的
逆行性胆管膵管造影(ERCP)での診断・治療はもちろん、超音波内視鏡(EUS)を用いた診断・治療も
行っています。

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)による治療

粘膜下に局注液を注入し、腫瘍を電気メスで切り取る方法です。
巨大腫瘍も早期であれば一括切除が可能です。適切な診断をもとに食道がん・胃がん・十二指腸がん・
大腸がんの切除に対応しています。

対応可能な疾患

食道がん・胃がん・十二指腸がん・大腸がん



内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)

内視鏡(カメラ)を使用して胆管・膵管を造影する検査です。この検査では、内視鏡を口から入れ、
食道・胃を通して十二指腸まで進め、細いチューブ(カテーテル)を介して胆管や膵管に造影剤を
注入し、胆のうや胆管、膵管を X 線撮影します。胆のう炎や胆管炎の治療も必要があれば行うこと
ができます。

対応可能な疾患

胆のう炎、胆管炎、総胆管結石、胆管腫瘍、胆石膵炎、膵のう胞、膵腫瘍

超音波内視鏡(EUS)

先端に超音波(エコー)がついた内視鏡を口から入れ、胃や十二指腸などの壁を通して、その周辺
にある膵臓や胆のう、胆管、肝臓などを観察する検査です。通常の腹部エコー検査と比べ、胃や腸
の中の空気や脂肪、骨がエコーの妨げになることが少なく、対象物のより近くから観察を行うため、
詳細な情報を得ることができます。

対応可能な疾患

胆のうポリープ、総胆管結石、胆管腫瘍、膵のう胞、膵腫瘍、消化管粘膜下腫瘍、副腎腫瘍

2024 年 実績

胃内視鏡検査 (GF)	1,817	腹腔鏡・内視鏡合同術 (LECS)	1
大腸内視鏡検査 (CF)	1,127	内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	
内視鏡的逆行性胆道膵管造影 (ERCP)	164	食道	2
経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG)	94	胃	39
経皮内視鏡的盲腸瘻造設術 (PEC)		十二指腸	3
気管支鏡検査 (BF)		大腸	68
超音波内視鏡膵臓・胆管検査 (EUS)	13	内視鏡的粘膜切除術 (EMR)	168
小計	3,257	内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP関連手技)	164
合計		小計	445
			3,702

消化器内科

消化器外科



消化器病センター長
村上 和成

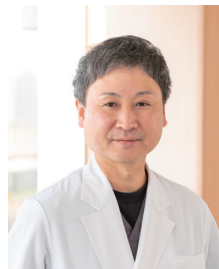
患者さんの負担は最小に、治療効果は最大に

消化器病センターは消化器内科医 4 名、消化器外科医 5 名が連携を図り、さまざまな消化器疾患（消化管・肝臓・胆のう・膵臓疾患）に対し、診断・内視鏡治療・外科的 手術まで一貫して行える体制を整えています。

「患者さんの負担は最小に、治療効果は最大に」を目標に掲げ、患者さんにとって最善の治療法を選択し、早期社会復帰に向け、サポートします。



消化器センター長
荒巻 政憲

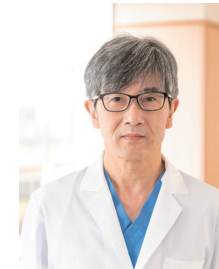


消化器内科部長
首藤 充孝

消化器外科・消化器内科合同手術

腹腔鏡・内視鏡合同手術 L E C S Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery

L E C S は、胃の粘膜下腫瘍（2 ～ 5cm の大きさ）などをピンポイントで切除できる画期的な手術法で、患者さんにかかる負担が少ない（低侵襲）という特徴があります。消化器内科医が内視鏡カメラで胃の中から腫瘍の位置を確認し、胃の中に切開する切除線（マーキング）を決めます。全周切開後、腹腔内に意図的に穴をあけ、切開の準備をします。その後、消化器外科医によってお腹にあけられた小さな傷（孔）から専用の手術器具を挿入し、切除線に沿って腫瘍を切除していきます。胃の中（内視鏡）と外（腹腔鏡）の両方から確認できるため、最小の切除範囲が確定でき、術後の胃の変形を最小限に抑えられ、胃の機能の温存も可能です。



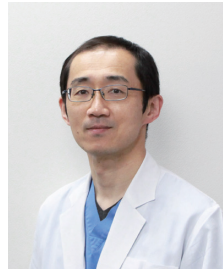
副院長 主任外科部長
佐藤 博



消化器外科部長
藤井 及三



消化器内科医長
和氣 良仁



消化器内科医長
衛藤 孝之



消化器外科医長
田邊 三思



消化器外科医員
市原 広基

消化器外科

Gastrointestinal Surgery

外科では、消化器・一般外科として、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆管がん、胆のう結石症、急性虫垂炎などの消化器疾患の手術や鼠径・大腿ヘルニア手術などを行っています。

1991年5月に大分県では初の腹腔鏡下手術を導入し、現在では様々な手術を腹腔鏡下で行っています。

腹腔鏡下手術

腹腔鏡下手術とは、小さな傷（孔）から専用の内視鏡装置や操作用器具を挿入して行う手術です。従来の開腹手術と比べて、身体のださまざまな機能に与えるダメージが少ないこと（低侵襲）や手術の傷が目立ちにくいこと（整容性が良い）が特徴です。

対応可能な疾患

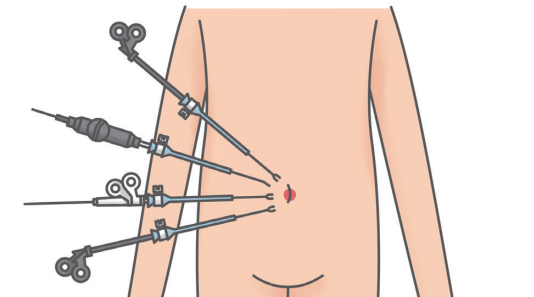
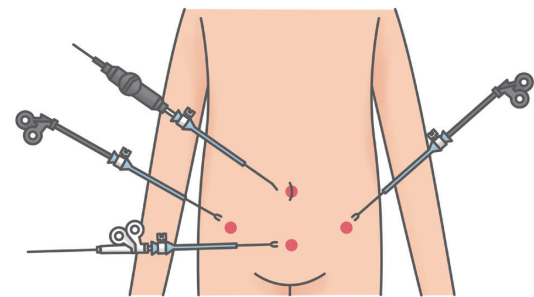
胆石症、鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア、胃がん、大腸がんなど

単孔式腹腔鏡下手術（低侵襲手術）

通常の腹腔鏡下手術では、4、5か所の小さな傷（孔）を使って手術をしますが、単孔式手術では傷の臍部（へそ）の1か所だけです。単孔式腹腔鏡下手術は、腹腔鏡下手術よりもさらに低侵襲で整容性に優れた術式です。

対応可能な疾患

胆石症、鼠径ヘルニアなど



消化器がんに対する拡大手術

一方で消化器がんでは、拡大手術をしなければ切除出来ないがんもあります。拡大手術とは、他臓器や血管を合併切除する手術です。進行した胃がん、大腸がんだけでなく、肝臓がん、膵臓がん、胆道がんに対しても取り入れており、生存率向上に貢献しています。

2024年 実績

悪性疾患			良性疾患			
手術	腹腔鏡	開腹	手術	腹腔鏡	開腹	その他
胃全摘術	3	3	食道裂孔ヘルニア手術	2		
			胃手術	5	6	
胃切除術	5	5	胃瘻造設	4	1	
			肝切除術		1	
肝切除術		5	肝嚢胞切開術	3		
			胆嚢摘出術	189	5	
胆嚢悪性腫瘍手術		2	胆管切開結石摘出術	2	2	
			膵臓手術		1	
			脾摘出術		1	
胆管悪性腫瘍手術		3	小腸切除術	2	9	
			急性汎発性腹膜炎手術	4	9	
膵頭部腫瘍切除術		4	結腸切除術	4	13	
			腸吻合術		6	
			腸管癒着剥離術	12	15	
膵体尾部腫瘍切除術		2	大腸手術	2	1	
			虫垂切除術	33	1	
			人工肛門関連	1	8	
結腸悪性腫瘍切除術	15	21	肛門疾患（痔核、痔瘻など）			42
			ヘルニア手術	81	25	
直腸切除・切断術	12	1	胸腔・腹腔シャントバルブ設置術		2	
			CV ポート造設術			10
子宮付属器腫瘍摘出術		1	創傷処理、皮膚、皮下腫瘍摘出術など			8
			その他			13
小計	35	47	小計	344	106	73
合計						605